

◆第1回FD研究会

1. 開催概要

テーマ	大人数講義に使える30の授業ティップス — 大人数講義で学生との対話は可能か? —	
開催日時	2014年7月24日(木) 13:00~15:00	
発表者	佐藤 浩章 氏	大阪大学教育学習支援センター 副センター長 大阪大学全学教育推進機構 教育学習支援部門 准教授

2. 開催趣旨

大人数講義の担当者からは、「私語が多く、それを注意すると教室の雰囲気が悪くなる。」「教室後方が無法地帯化。」「資料配布やレポート採点がたいへん。」など多くの声が聞かれます。

しかし一方では、学生は教員ほど大人数講義について不満を抱えていないというデータもあり、是非、その期待に応えたいものです。

このような、多くの特殊性を持つ大人数講義ですが、ちょっとしたティップス(技)や大人数を逆手に取る発想を用いれば、その雰囲気は大きく変化します。

誰にでも実践可能な30の授業ティップス(技)を紹介しながら、学生との対話を可能とする大人数講義の進め方について考えます。

3. 当日の様子



4. 参加者の感想

・今後の授業に役立てられそうな、無理のない講義内容で大変有意義だった。また、学外(非常勤)でも参加できるかたちで開催していただいた点もよかったと思う。

・基本が大切な事。シラバスを大切に活用する事。まだまだ私の授業は進化させる事ができると感じました。ありがとうございました。

・聞き手(我々教員・職員)に緊張感なく、わかり易く、おだやかな進行で、大変好感が持てました。再度、大人数の特殊性を認識し、授業の特性に応じた策を練り、いくつか実践していこうと思います。ありがとうございました。

◆第2回FD研究会

1. 開催概要

テーマ	発達障がい学生支援について ～授業に視点をおいて～
開催日時	2014年9月10日(水) 12:45～14:15
発表者	菅原 伸康 先生(佛教大学 教育学部 教授)

2. 開催趣旨

ここ数年で、増加しつつある発達障がいのある学生。その対応に独りで悩まれている先生、職員の方も多いのではないでしょうか。

特に、授業設計や授業運営には、発達障がいの特性に沿った工夫が必要となります。

今回のFD研究会では、発達障がい学生の特徴を理解し、それに沿った授業の工夫や配慮についてお話ししたいと思います。

3. 当日の様子



4. 参加者の感想

- ・ありがとうございました。大変勉強になりました。次回へも期待が高まりました。
- ・発達障がいについて大学全体として検討しなければならないことを学んだ。
- ・大変勉強になりました。今後の講義に役に立てたいと思います。
- ・大学として、発達障がい学生への支援の合理的配慮の範囲の大枠を決めていく必要がある。支援担当者が、そのケースごとに担当教員や事務担当部署との交渉を1つ1つイチから始めなければならないのは大変である。

◆第3回FD研究会

1. 開催概要

テーマ	発達障がい学生支援について ～大学生活に視点をおいて～
開催日時	2014年10月8日(水) 16:10～17:40
発表者	菅原 伸康 先生(佛教大学 教育学部 教授) 渡邊 照美 先生(佛教大学 教育学部 准教授)

2. 開催趣旨

発達障がいのある学生にはさまざまな配慮が必要です。

特に、授業を進める中での配慮は、とても複雑でデリケートな課題ではないでしょうか。

今回のFD研究会は発達障がい学生が大学生活の中でどのような悩みを抱えているのかを考えます。

その上で、特に授業場面に焦点を当てて、どのような方法で対応していくことが効果的なのかを考える機会としたいと思います。

3. 当日の様子



4. 参加者の感想

- ・まさに現在、本校で困っている問題のヒントになりました。
- ・「具体的な手立て」の対策例が大変参考になりました。
- ・とても参考になりました。こういうFDを本学でも開催したく考えています。
- ・発達障がい学生とのコミュニケーション時の参考になりました。ありがとうございました。
- ・発達障がいの学生さんが、学校教員職を目指されるとい現実には少し驚きを感じましたが、少しながらも、障がいを持たれた学生さんへの配慮方法や対応方法が知れて良かったです。

◆第4回FD研究会

1. 開催概要

テーマ	学生が自ら学ぶ授業を設計してみませんか？ ～シラバスの工夫で、授業はもっと良くなる～
開催日時	2014年11月25日(火) 17:00～19:00
発表者	中島 英博 氏(名古屋大学高等教育研究センター准教授)

2. 開催趣旨

今回の研究会では、自らのシラバスを5つのポイントから点検し、他者との意見交換の中でシラバスの改善、更には学生の主体的学習姿勢を引き出しシラバス作成を目指します。

3. 当日の様子



4. 参加者の感想

- ・専門分野の異なる先生がたと議論を重ねるなかで、良い刺激を受けました。ありがとうございました。企画・運営をしてくださった皆様に感謝いたします。
- ・段階的なワークで、シンプルに考え直すことができました。
- ・ディプロマポリシーと自分の科目の到達目標は、別に考えていましたが、このように系統的に考えていくと何が自分の授業設計の中で不足しているか考えることができました。ありがとうございました。

◆第5回FD研究会

1. 開催概要

テーマ	発達障がい学生支援について ～成績評価に視点をおいて～
開催日時	2014年11月27日(木) 16:10～17:40
発表者	渡邊 照美 先生(佛教大学 教育学部 准教授)

2. 開催趣旨

これまで2回の研究会では、発達障がい学生の大学での困り感について、また授業設計・運営についてをお話してきました。

今回のFD研究会は、発達障がい学生の単位修得をどのように支援していくのか、成績評価をどのように行うのかを中心に考えていきたいと思えます。

みなさんが日頃悩んでおられる事柄を共有できればと考えています。

3. 当日の様子



4. 参加者の感想

- ・とても参考になりました。ありがとうございました。
- ・保護者の支援について話が聴きたかったので、参考になりました。ルーブリックも参考になりました。ありがとうございました。
- ・発達障がい学生の周囲(教職員、学生など)に障がいの知識はあるはずなのに当該学生に対する理解がない。他大学の方も同様のことで悩まれていると知りました。対応方法についてアドバイスをいただけて、心強かったです。
- ・前回の「シラバス」とも連動していると感じました。ありがとうございました。